



令和8年度 学校法人尚絅学園事業計画書

I.はじめに

尚絅学園は、令和5年度から10年間の「第二期中長期計画」を策定し、学園の現状と課題、学園を取り巻く環境の変化や今後の方向性を踏まえた本学園の目指すべき姿（ビジョン）を掲げ、ビジョン達成のために新たなスタートを切りました。「第二期中長期計画」では、設置校の存続を前提に、学生・生徒の確保を最優先の課題として計画を策定しましたが、3年間の計画期間を終え、想定以上の社会環境の急激な変化により、大学・短大の学生数減少に歯止めがかけられない状況となっています。

この現状を踏まえ、令和7年2月に「尚絅大学短期大学部総合生活学科の令和8年度以降の募集停止」及び「尚絅大学現代文化学部の入学生定員削減と教育内容の抜本的な見直し」を決定し、令和7年8月に中長期計画の改定、加えて経営改善計画の策定を行いました。

令和8年度においては、改定した中長期計画および経営改善計画に則り、事業運営を行うことに加え、上述の大きな改革にしっかりと対応することが重要です。

II.主な施策

1.学園全体・学校法人

- 本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生・生徒等が充実した学校生活を過ごすためには、経営力の強化による安定的かつ強固な財務基盤の構築、人材育成の強化、施設設備及び教育・研究環境の整備が必要不可欠で、改定した中長期計画および経営改善計画を指針とし、さらなる向上を図ります。
- ガバナンス
経営の規律と誠実性を維持しつつ、「建学の精神」「教育理念」に則った教育を実現するための体制整備に努め、管理部門と教学部門の円滑な意思疎通と連携を図るとともに、相互チェックを適切に機能させます。また、人権・安全へ配慮した危機管理体制及びSDGsへの取り組みを強化します。
 - 財政
中長期計画に基づく適切な財務運営を確立し、安定した財務基盤のもと収支バランスの均衡に努めます。
 - 人事
各設置校の使命・目的に則し、財政状況を踏まえた適正な人員配置と、公正・公平で納得感のある人事評価の確立と適正な処遇の実現に努めます。また、適切な人事管理・労務管理体制を確立し、教職員の資質・能力の向上と職能開発を実施します。
 - 施設設備
外部環境の変化に対応した教育・研究環境の整備と適切な運営・管理を実現します。
 - 同窓会・後援会・地域との連携
同窓会、後援会および地域との連携強化に努め、各設置校の発展に寄与する活動を支援します。

2.尚絅大学・尚絅大学短期大学部

本学における最大の課題は学生確保です。18歳人口の減少や共学・四年制大学志向が見られる中、短期大学部においては定員未充足が続いていた総合生活学科の学生募集の停止を、また、大学においては現代文化学部の入学生定員数削減（75人から65人へ削減）と、新カリキュラムの見直し（再編）を行いました。これらの決定は、教育機関としての規模の縮小ではなく、経営基盤の安定化と、教育の質の向上を図るための積極的な施策です。

また、現代文化学部では「文系デジタル人」の育成を柱とした新カリキュラムを基にした授業を開始します。データサイエンスと人文学を融合させた教育を展開することで、現代社会の課題解決に貢献できる新たな女性像を提示し、志願者数の回復と定員充足を図ります。また、本年度完成年度を迎える「こども教育学部」においては、特別支援教育の強みを活かした専門職養成のアピールと共に、自治体（熊本県）との共同事業による中高生等を対象とした幼児教育・保育志望者の養成事業など多角的な広報活動を行うことにより、来年度以降の入学生定員の充足を目指します。

2023年度にスタートした「第二期中長期計画」は、本年度で4年目を迎えます。これまでに築いてきた「食」や「子育て」分野での強み、さらには地域連携や国際交流の実績を礎としつつ、本年度は学修成果のさらなる可視化の充実と活用、並びに、社会的ニーズに応える教育課程の不断の改善に注力します。また、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の申請に向けた体制整備を完了させ、全学的なDX教育の基盤を確立します。

教育の質保証については、令和6年度に受審した日本高等教育評価機構による認証評価の結果を真摯に受け止め、指摘事項に対する改善を着実に実行してまいります。全学部・学科においてPDCAサイクルを実効性のあるものへと進化させ、学生一人ひとりの成長を支える教育環境を構築します。

「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」という建学の精神、そして「表面を飾らず内面の充実に努める」という教育理念のもと、本学は、地域に根差し、社会から信頼され支持される女子総合学園として、教職員が協働し、困難な時代を切り拓き、さらなる発展を目指します。

3.尚絅中学・高等学校

少子化、そして受験生の男女共学志向が根強く続いている中、全教職員と管理職のみで実施する学校訪問の差別化、学校ホームページや学校案内パンフレットの改善等を行ったこともあり、令和6年度入試から高等学校の志願者数・入学者は改善傾向にあります。しかし、今後も安定した学校経営・運営、そして生徒たちの学びを保障するためには、令和8年度からの入学生を第二期中長期計画の達成をより確実なものにするために策定された経営改善計画2025の人員計画のとおり確保することが必要です。

また、これからの生徒たちは予測困難な時代を生きなければなりません。その時代を生徒たちが自分らしく生きていくためには本学園の建学の精神の実現が必要です。令和8年度はその実現のため、各コースにおける学びの更なる魅力化と発展を図り、尚絅大学・尚絅大学短期大学部との連携による教育力の向上に取り組みます。なお、第二期中長期計画（2025年8月改定）に則ったアクションプランに対する重点施策及び具体策は以下のとおりです。

- (1)「教育の質向上」
各教員のもつ専門性やDX推進を最大限に利用した各コースの新たな魅力づくりに取り組みます。
- (2)「品性があり社会に貢献し得る生徒の育成」
生徒たちが社会に貢献し自分らしく生きていくためには、生徒の自己認識と問題解決能力を深めることが重要であるため、教科の枠を超えた探究学習の充実に取り組みます。
- (3)「生徒支援の充実」
職員間の情報共有とスクールカウンセラーと連携した組織的な支援を行い、生徒の心理的安定性、キャリア観の形成、心身の健康の保持増進に取り組みます。
- (4)「地域貢献の推進」
地域に開かれた学校としてボランティア活動や地域行事へ参加し、社会のニーズに応じて環境活動や地域社会に積極的に参加する生徒の育成に取り組みます。
- (5)「個性豊かな生徒の獲得」
尚絅学園としての中学校・高等学校の魅力を尚絅大学・尚絅大学短期大学部と連携して見出し、内部進学を希望する生徒の募集に取り組みます。

4.尚絅大学附属こども園

附属こども園では、「認定こども園教育・保育要領」等3法令の改訂等の趣旨を受け、教育・保育の目標達成をめざし「尚絅らしさ」を生かした改善・充実に努めるとともに、在園児保護者と地域保護者の支援に努めるという2つの目的の達成による社会貢献に努めています。

まず、教育・保育です。「全体的な計画（教育課程）」をもとに、「子どもの発育にふさわしい自然の風情をそのままに生かし、環境の構成（教育的な意図）を創造し、子どもの健やかな成長をめざす」ことを目標に、「尚絅らしさ」を「自然豊かな園庭で伸び伸びと遊ぶ園児」として、全教職員が質の高い、温かい愛情に満ちた教育・保育を推進します。今年度は県私立幼稚園連合会県大会及び九州地区大会問題提起園になり、それに向けて、園児主体の実践を展開していきます。また小学校への円滑な連携を図ることも進めていきます。さらに広報誌やHP欄の充実、地域社会や自治体・市町教委、小・中学校、諸機関との連携、学校評価を生かした教育・保育の改善にも取り組みます。

次に、保護者支援です。日々の教育・保育の充実やPTA（杉の子会）との協力と共に、在園児保護者にも地域保護者にとっても安心できる子育て支援を「子育て相談会」や「どんぐりルーム」等で推進しています。ここ数年、特別な支援を必要とする園児や援助・配慮を要する保護者の増加に伴い、園児の安全性の確保や発達特性に応じた教育・保育の対応力の向上、療育施設との連携、協力、保護者の相談事業等をはじめ、保育者数の確保や研修が急務となっていますが、保育者の常時確保が難しく決して安全な教育・保育が保障されているとは言えない状況も見られます。また、園児の命と安全を守るために、子育てに不安や困り感をおもひの保護者、DVや児童虐待事案等に対して、行政機関・小学校・療育施設・児童相談所・警察等との連携・協力による支援を実施しています。喫緊の課題は、収支均衡のための園児の確保です。周辺市町は海外からの進出企業の影響もあり数年は少子化の影響は少ないと見られていましたが、令和8年度の募集では3歳1号園児が減少し、年少クラスを1クラス減にすることになりました。近年1号園児数を確保するために様々な取り組みを行ってきました。今年度も保護者の声や近隣の状況に注視しながら対応策を進めていきます。また収支均衡を実現するためにも定員の見直しの対応が必要となり、現在押し進めているところです。令和8年度より1号の利用定員の見直しを行い、従来の1号200名を170名とする予定です。今後も少子化により園児数の減少が続いていくことが予想されるため順次利用定員の見直し（減員）を検討していく予定です。

また、保育者の確保が大きな課題です。令和8年度の常勤職員を募集しても応募がなく、通常の保育への影響は必至です。そのため子育て支援室をはじめとして事業計画を縮小したり目標を達成できなかつたりする部分があることが予想されます。人材確保に関する大学、短期大学部との連携強化や処遇の見直し等を通して保育者の確保につなげていければと願います。そのために業務改善を図ることも急務です。学級事務の簡素化やDX推進をさらに進める必要があります。DX推進では、ICT支援システム「コドモン」を導入し、保護者の利便性を高めてきています。「コドモン」でのドキュメンテーション機能等の活用も始まり、職員の業務改善への活用をさらに模索していきます。



尚絅大学・尚絅大学短期大学部

令和8年度 尚絅公開講座

38億年の命

— 明るい未来を目指して —

- 開催日 10/10(土)・17(土)・24(土)
- 対象者 男女・年齢に関係なく受講できます
- 受講料 2,000円(高校生以下は無料)
- 開催場所 尚絅大学・尚絅大学短期大学部
九品寺キャンパス
大学1号館10階ホール

【お問合せ】

尚絅大学・尚絅大学短期大学部
庶務会計課
E-mail: shomuk@shokei-gakuen.ac.jp

申込方法は
ホームページにて
お知らせいたします。



尚絅中学・尚絅高等学校

入試説明会

- 開催日 11/8(日)・14(土)
- 時間 9:30～11:30
- 会場 尚絅中学・高等学校



尚絅大学附属こども園

令和8年度 こども園運動会

- 開催日 10/17(土)
- 開催場所 尚絅大学武蔵ヶ丘キャンパス
グラウンド



尚絅祭

開催日

10/31(土)
11/1(日)

会場

九品寺キャンパス

※武蔵ヶ丘キャンパスでは
11月14(土)・15(日)に
尚絅祭を開催します。



大学・短大の尚絅祭と中高の文化祭は

10/31(土)
同日開催!!

開催日

10/30(金)
11/1(土)

会場

尚絅中学・
高等学校



中高文化祭